別紙１

呉市上下水道ビジョン（素案）の修正について

１　呉市上下水道ビジョン（素案）に対する意見募集の結果

提出された意見の要旨	市の考え方
第３章　基本理念と基本方針【３　体系図】	
(1) 具体的施策のうち，「１－３（４）公共用水域への放流水の水質管理」という施策名は，他の施策名と異なり，今後水質管理をどうしていくのかという方向性を表していないように思う。	他の施策名との整合を図るとともに施策の方向性を表すため，具体的施策「公共用水域への放流水の水質管理」を「公共用水域への放流水の水質管理の徹底」に名称を変更します。 【修正箇所】 （３３ページ）１か所 （５４ページ）１か所 （５９ページ）２か所
第４章　具体的施策【３－１　経営基盤及び組織力の強化】	
(1) 呉市の水道設備状況や下水処理場について，より安全で効率的な技術を導入することはもちろんであるが，災害時の給水や復旧への職員体制も確保していただきたい。常勤職員数を令和５年度当初の１６４人から令和１０年度当初で１７０人に増やすという人員計画は，必要なことであると思う。	令和５年３月策定の第３次呉市上下水道局職員体制再構築計画では，五つの基本方針のうち，「(4) 非常時における応援体制の確保」において，「事前に見通すことが困難である地震，水害及び台風や感染症の感染拡大等の非常時においても，迅速に対応できるよう必要な態勢を整えます。」としており，本ビジョンはその方針を盛り込んだ内容としています。 今後の事業運営では，当計画を着実に実行し，引き続き災害時の迅速な給水・復旧体制の維持，向上に努めます。

２　呉市上下水道事業経営審議会での意見

頂いた意見の要旨	市の考え方
第４章　具体的施策【基本政策１－２　水道水の供給体制の向上】	
(1) 全管路のうち法定耐用年数の４０年を超えた管路延長数の割合を表す管路経年化率について，令和４年度実績は３３．３パーセントであるが，今後の取組にもかかわらず令和１０年度目標は３９．６パーセント，令和１５年度目標は４５．９パーセントとなっており，割合が進んでいく状況にある。 ここだけを見ると，この先呉市の管路はどうなっていくのかが分からず，本ビジョンを読んだ人は非常に不安になるのではないか。	管路経年化率は全国で使用されている指標であり，他都市との比較を可能にするためにも掲載しておりますが，法定耐用年数をベースとしているため，管路更新ペースの妥当性を判断しにくい面があります。 そのため，管路経年化率に関する補足の説明を追加します。 【修正事項】 ４７ページ　〔指標の趣旨〕の最終行の後に次の記載を追加 〔本市水道事業の管路経年化率について〕 本市の水道管は，法定耐用年数（４０年）を経過しても直ちに更新するわけではなく，管の特性を踏まえ，できる限り長期間使用することとし，おおむね法定耐用年数の１．５倍の年数を経過した管路を更新対象としています。 そのため，法定耐用年数（４０年）を基準とした管路経年化率は上昇傾向にありますが，現在新たに布設している管は材質等の向上により１００年間の使用に耐え得るとされており，法定耐用年数経過後，更に６０年は使用できることから，現在の管路更新計画を着実に実施することで安定給水を維持することができます。

３　その他の修正箇所

修正箇所	修正内容
(1) 団体名称の修正 （５９ページ）	【修正前】呉漁業協同組合 【修正後】呉漁業協同組合連絡協議会
(2) 錯誤内容の修正 （８８ページ）	【修正前】●温室効果ガス排出量：基準年度（令和２５年度：１９，７９３ｔ）比５０％削減（９，９００ｔ） 【修正後】●温室効果ガス排出量：基準年度（平成２５年度：１９，７９３ｔ）比５０％削減（令和１２年度：９，９００ｔ）